

「青少年のための科学の祭典-2010おもしろ科学まつり-和歌山大会」実施報告

(1) 概要

2010年12月18日(土)と19日(日)に、和歌山大学のキャンパスで実施した。大学で行ったのは初めてである。来場者数は、2日間で約1,300人であった。また、今年度の大会は、和歌山大学学生自主創造科学センター主催の「和歌山大学公開体験学習会」と同時開催として行った。

広い会場を利用した出展内容として、ペットボトルロケットを飛ばす実験や、ロケットエンジンの燃焼実験、成層圏バルーンの展示と実演、ソーラーカーの試走が行われた。また、大学の実験器具を利用することも容易であったため、実習用の顕微鏡を大量に利用した生物観察のブースもあった。これらは、大学のキャンパスを利用したために行うことができたといえる。

一方で、大学のキャンパスを利用したことによって、来場者が例年よりも大幅に減少するということにもなった。公共交通での来場をお願いしたためであろう。ただその代わりに、出展者の皆様にはじっくりと説明していただき、来場者の方には並ばずに多くのブースを回っていただくことができた。

和歌山大学のキャンパスを利用することは、良い面とそうでない面の両方がある。運営において、かなりの工夫が必要である。



(a) 顕微鏡による生物の観察



(b) ハイブリッドロケットエンジンの燃焼実験



(c) 発電と蓄電の実験



(d) イヤホンを作っているところ

図1 会場の様子

(2) 経過

2010年

- 5月31日 第1回実行委員会（開催日、会場を決定）
- 6月18日 中等理科教育法B ガイダンス 受講生 27名（5班）
- 7月12日 第2回実行委員会
- 9月 3日 出展募集締め切り
- 9月16日 第3回実行委員会
- 10月12日 ガイドブック原稿締め切り
- 10月20日 第4回実行委員会
- 11月19日 第5回実行委員会
- 11月26日 チラシ（60,000枚）、ポスター（800枚）完成
～ チラシ、ポスターを学校等に配布依頼
- 12月 6日 ガイドブック（3,000部）完成
～ 協賛団体、後援団体、共催団体にガイドブック・ポスターを送付
～ ガイドブック、ポスターを報道機関へ送付、報道依頼
- 12月11日 第6回実行委員会、出展者打合せ会
- 12月17日 会場設営
- 12月18日 大会1日目、開会式（公開体験学習会も開催）
- 12月19日 大会2日目

(3) 実施詳細

- ◎名称 青少年のための科学の祭典——2010おもしろ科学まつり——和歌山大会
- ◎日時 2010年12月18日（土）12：30～16：00
19日（日） 9：30～16：00
- ◎場所 和歌山大学（基礎教育棟、経済学部棟ほか）
- ◎主催 「青少年のための科学の祭典・和歌山大会」実行委員会、財団法人雑賀技術研究所、日本物理教育学会近畿支部、（財）日本科学技術振興財団・科学技術館
- ◎共催 和歌山大学学生自主創造科学センター、和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会、和歌山県科学教育研究会、和歌山市小学校理科教育研究会、和歌山市中学校理科教育研究会、和歌山県高等学校教育研究会理科部会
- ◎協賛 電気事業連合会、啓林館、株式会社島精機製作所、株式会社オークワ、フォルテワジマ（和島興産株式会社）、株式会社 NTT ファシリティーズ、ユニカミノルタプラネタリウム株式会社、竹内化学株式会社、有限会社和歌山教具、有限会社みしま教材、株式会社ウエノ教材、和歌山大学消費生活協同組合、クインライト電子精工株式会社、下代組機工、株式会社アーツテックラボ、スペースインターネット株式会社、株式会社マルセ工機、阪和電子工業株式会社、ケイ・エー商会、西本工機株式会社、柏木鉄工株式会社、オムロン関西制御機器株式会社
- ◎後援 文部科学省、和歌山大学教育学部、和歌山大学観光学部、和歌山商工会議所、社団法人発明協会和歌山県支部、株式会社テレビ和歌山、株式会社和歌山放送、朝日新聞和歌山総局、毎日新聞和歌山支局、読売新聞和歌山支局、産経新聞、ニュース和歌山株式会社、株式会社和歌山リビング新聞社、わかやま新報、全国科学館連携協議会、全国科学博物館協議会、NHK、日本物理教育学会、日本生物教育学会、日本地学教育学会、日本理科教育協会、日本基礎化学教育学会、日本科学教育学会、日本理科教育学会、日本地質学会、日本生物物理学会、（社）日本物理学会、（社）応用物理学会、（社）日本化学会、（社）日本機械学会、（社）日本アイソトープ協会、（社）日本理科教育振興協会、（財）日本私学教育研究所、（社）日本植物学会、（社）日本動物学会、（社）日本工

学会，(社) 日本天文学会，(社) 電気学会

◎出展数 45ブース

形態 演示41 (うち屋外4)、中学生向け科学教室3、ロボット教室1

出展母体 中学校1、高等学校15、大学15、中高大の混成チーム1、企業1、
科学クラブ等12

◎参加者数

	12月18日	12月19日	計
来場者数	451	789	1,240
実行委員、出展者、 アルバイト学生数	270	306	576
計	721	1,095	1,816

◎その他

○和歌山大学教育学部フレンドシップ事業「中等理科教育法 B」および和歌山大学における基礎教養科目「自主創造体験演習」の一環として実施

○「和歌山大学公開体験学習会」も同時開催(18日のみ)

(3) 広報

◎製作物

実験解説集：B5版／表紙 4色刷り、本文1色／64ページ／ 3,000部

ポスター：A3版、多色 800枚

チラシ：A4版、表・裏とも一色、60,000枚

会場案内図：A4版、表・裏とも一色、4,000枚

◎広報活動

チラシ：

○小中学校

橋本市～有田市までの全校に50枚ずつ配布

(ただし和歌山市、海南市、紀の川市、岩出市、海草郡は全生徒数を配布)

・大阪府は、阪南市と岬町の全校に50枚ずつ配布

○高等学校

橋本市～御坊市までの高校に、50枚ずつ配布。

(発送業務は、大学情報センターに依頼。)

ポスター：上記の小中高校に配布、教育委員会を通じて掲示を依頼。

インターネット：ホームページを開設。

マスコミ関係：① 和歌山大学広報室を通してプレスリリース配信。

② 主だった新聞社、テレビ局、ラジオ局に資料を郵送して報道依頼

◎報道

・広報かいなん11月号

・県民の友12月号

・市報わかやま12月号

・リビング和歌山(12月4日)

・ニュース和歌山(12月11日)

・産経新聞(12月17日、12月19日)

朝日新聞(12月19日)

毎日新聞(12月19日)

読売新聞(12月19日)

(4) 出展一覧

おもしろ科学まつり2010和歌山大会 出展一覧(部屋順)

2010年12月17日

ブース番号	代表者	所属グループ名	部屋番号	ブース番号	出展タイトル	内容
B05	岡本由希子	和歌山大学教育学部学生	経済102	B05	光のマジック ～屈折と反射の世界～	光の屈折と反射を用いた実験
B09	堂本佳佑	和歌山大学教育学部学生	経済102	B09	静電気で遊ぼう!	電気クラゲ、百人おどし、人工カミナリの実験を行う。
C08	越本泰弘	和歌山大学システム工学科光メカトロニクス学科	経済102	C08	めっきで絵を描こう	銅板の表面にマジックで絵を描き、そこだけ腐した亜鉛メッキを行う。
A13	飯添欣之	貴志川高等学校	経済103	A13	光スライム～動くスライムを作ろう 変わったシャボン玉を作ろう	蛍光染料やゼラチン入りのスライムを作る。割れにくい、大きなシャボン玉を作る。
B07	津老久代	和歌山県立海南高等学校	経済104	B07	厚紙でホイッスルを作って鳴らそう	ケント紙でホイッスルを作る。
B08	斎藤恵道	和歌山県立海南高等学校	経済104	B08	イヤホンをつかってみよう～ 電磁誘導(でんじゆうどう)でおまじない～	エナメル線とコヒーのミルク入れスピーカーを作る。
B10	赤坂健司	わかやまSTC	経済105	B10	電気を作ろう!	電気について実験をしながら学ぶ。
B11	赤坂健司	わかやまSTC	経済105	B11	磁石で遊ぼう!	磁石を使っておもちゃを作る。
B15	山中資基	県立和歌山西高等学校	経済105	B15	音の正体ってなんだ??	スピーカー、オシロスコープ、グラスなど道具を使って音の振りがどう伝わるかを体験する。
B12	岸田壮平	和歌山県立海南高等学校、Arduinoでいろいろ作ろう会	経済201	B12	Arduino(オープンソースハードウェア)でフィジカルコンピューティング	Arduinoに様々なセンサーや表示装置を付け、小型コンピュータの身近な活用例を見せる。
B13	飯島輝久	和歌山県立伊都高等学校	経済201	B13	真空(しんくう)の世界	真空ポンプでデシケータ内を減圧し、様々な物体の変化をみる。
C05	柚木明也	きのくにサイエンスラボ(KSL)	経済201	C05	イオンの不思議～錬金術?鉄くぎが銅色に～	鉄くぎを使って、鉄の表面に銅メッキをする。
C01	坂本修一	向陽高等学校環境科学科	G101	C01	ドライアイス+ジュース=? ～あの“二酸化炭素”が大変身!!～	ジュースの入った紙コップにドライアイスを入れてシャーベットを作る。
C02	坂本修一	向陽高等学校環境科学科	G101	C02	ぷるぷる芳香剤 ～高吸水性ポリマーを使って可愛い芳香剤を作ろう～	高吸水性ポリマーに水を吸わせ、固め、色と香りを付けて芳香剤を作る。
C04	坂本修一	向陽高等学校	G101	C04	ウォーター・マジック ～不思議!!水の色が変わったぞ!!～	交通信号反応、時計反応、濃縮反応を体験する。
C07	坂本修一	向陽高等学校環境科学科	G101	C07	使い捨てカイロを作ろう ～カイロを作ってカエロ!!～	鉄の酸化熱を利用してカイロを作る。
A12	鳥本紀子	向陽高校、和歌山県高校理科研究会実習教員部有志	G102	A12	へびのひも	増幅を費したおもちゃ「へびのひも」を作る。
B06	坂本修一	向陽高等学校	G102	B06	-196℃の世界	液体窒素でいろいろなものを凍らせる。
A07	赤坂健司	わかやまSTC	G103	A07	プーマランの不思議発見!	厚紙を使ってプーマランを作る。
A08	赤坂健司	わかやまSTC	G103	A08	竹(木・紙)トンボで科学に挑戦!	竹、木、紙トンボを作り、飛行の原理を調べる。
A03	鈴木良朋	日高高校	G201	A03	フェノールフタレインを用いたサイフォン	サイフオンの原理を体験してもらおう。
A04	溝口和子	和歌山大学教育学部 生物学教室有志	G201	A04	身近な動植物の体を拡大して見よう	動植物を顕微鏡で観察し、その構造を知る。
B14	矢野充博	和歌山大学教育学部附属中学校	G201	B14	マジックミラーでマジック?	マジックミラーを使ったマジックを作り、中に入った物の変化を見る。
A05	赤坂健司	わかやまSTC	G202	A05	空気砲を作って遊ぼう!	空気砲を作る。
A06	赤坂健司	わかやまSTC	G202	A06	がりがりトンボの不思議!	がりがりトンボを作る。
A09	赤坂健司	わかやまSTC	G203	A09	リングキャッチャーのサイエンス!	無重力により落下するリングをチェーンや紐がキャッチする実験。
C06	赤坂健司	わかやまSTC	G203	C06	分子のかたち～分子模型ストラップを作ろう!～	原子・分子の世界を分子模型ストラップで作って考える。
A10	赤坂健司	わかやまSTC	G205	A10	音の秘密をさぐろう!	フィルムケースでオカリナを作り、音の不思議に迫る。
A11	橋本成智	きのくにサイエンスラボ(KSL)	G205	A11	左と右…物の形、分子の形	物や分子の「左手系と右手系」について実験をしながら調べる。
A19	オノ神様	和歌山大学教育学部学生	G206	A19	冬の七夕	プラネタリウムでの星座観察と星のしおり作り。
A18	森宗純	和歌山大学、デザイン情報学科グループウェア研究室	G207	A18	ネットワークで遊ぼう!	短文字を使ったコミュニケーションシステムの実演、ネットワークを使った「けんけん」の実演など
B01	塩川貴之	和歌山大学、光波画像計測研究室	G301	B01	ストロボの世界へようこそ	ストロボや顕微鏡を使った光の実験、モアレグラフィの体験。
C03	福島和明	和歌山県立医科大学	G301	C03	光る物質	身近な蛍光物質の紹介、化学発光の実験
A14	小山寛子	海南高等学校	G302	A14	顕微鏡(さくし)の世界へようこそ ～目の錯覚(さっかく)を楽しもう～	様々な顕微鏡を体験してもらおう。
A17	西真美	海南高等学校科学部	G302	A17	分光器を作ってみよう	分光器を手作りし、光のスペクトルを観察する。
A15	湯澤利樹	貴志南小学校	G304	A15	ゆれる・たおれる ゆれる ～地しんを科学しよう～	和歌山市に分布する岩石の紹介、地震の揺れ方の演示
A16	中山敬太	(株)啓林館	G304	A16	カラクリ人形を作ってみよう ～12月18日 回転人形・12月19日 トコトコ人形～	カムのしかりを使ったおもちゃ作りを行う。
R01	藤本那久	桐蔭高等学校・桐蔭中学校科学部物理班、和歌山大学ロボット教室プロジェクト、ロボカップジュニア和歌山ノード	G305	R01	ロボットを動かそう ～プログラムを作ろう～	ロボットのプログラムを作って動かす体験をする。
K01	仲家亮	和歌山大学教育学部学生	G306	K01	葉っぱの血管を見てみよう!	玉の実験を使ってしおりを作る。
A02	井畑直樹	和歌山大学教育学部学生	G306	K02	タマネギを使って染色しよう!!	玉ねぎの皮を使って草木染めを行う。
K03	宇根崎博信	京都大学原子炉実験所、かんさいアトムサイエンス倶楽部(K-ask)	G306	K03	放射線のあしあとを見よう! ～霧箱(きりばこ)工作と放射線の観察実験～	放射線に関する講義と、霧箱を作り放射線の飛跡を観察する。
A02	藤本大海	和歌山大学SolarCarProject	屋外	A02	ソーラーカーをもっと知ろう!	ソーラーカーの展示、仕組みの解説、ソーラーパネルの発電量の表
B02	藤田利光	きのくにサイエンスラボ(KSL)	屋外	B02	ペットボトルロケットを飛ばそう	ペットボトルロケットを飛ばす演示を行う。
B03	廣田達也	WSP(和歌山大学宇宙開発プロジェクト)	屋外	B03	宇宙をもっと身近に ～風船で宇宙に行ける!??	ロケット、ランチャーの展示、パルーンにカメラを搭載し映像伝達の様子を見せる。
B04	廣田達也	WSP(和歌山大学宇宙開発プロジェクト)	屋外	B04	ロケットエンジンの燃焼実験!	ロケット、ランチャーの展示、パルーンにカメラを搭載し映像伝達の様子を見せる。
A01	尾久土正己	和歌山大学観光学部、宇宙教育研究所	シスエB棟	A01	行ってみたい! デジタルドーム観光ツアー	超高精細デジタルドームシアターで、様々な土地の風景を映像体験してもらおう。

出展取り
消し

出展団体数	小学校	0	1	
	中学校	1	1	
	高校	15	15	
	大学	15	15	
	企業・団体	13	13	
	混成チーム(中学、高校、大学)	1	1	
	合計	45	46	

(5) 来場者アンケート

来場者アンケート

	12月18日	12月19日	合計
回答者数	68	304	372

1. どこから来ましたか？

	12月18日	12月19日	合計	割合[%]
① 和歌山市内	46	197	243	65.9%
② 海南・海草	5	21	26	7.0%
③ 和歌山県内	12	57	69	18.7%
④ 大阪府	0	28	28	7.6%
⑤ 奈良県	0	0	0	0.0%
⑥ 兵庫県	0	1	1	0.3%
⑦ 京都府	0	0	0	0.0%
⑧ 滋賀県	0	0	0	0.0%
⑨ その他	2	0	2	0.5%
合計	65	304	369	100.0%

2. この大会をどのようにして知りましたか？

	12月18日	12月19日	合計	割合[%]
① ビラ	24	108	132	31.9%
② ポスター	7	24	31	7.5%
③ テレビ	1	0	1	0.2%
④ ラジオ	0	0	0	0.0%
⑤ 新聞	1	16	17	4.1%
⑥ 先生から	15	91	106	25.6%
⑦ 友達から	1	11	12	2.9%
⑧ 家族から	9	46	55	13.3%
⑨ その他	15	45	60	14.5%
合計	73	341	414	100.0%

3. あなたは男の方ですか、女の方ですか？

	12月18日	12月19日	合計	割合[%]
① 男	31	148	179	50.0%
② 女	28	151	179	50.0%
合計	59	299	358	100.0%

4. 年はいくつですか？

	12月18日	12月19日	合計	割合[%]
① 0～3歳	0	0	0	0.0%
② 4～6歳	0	15	15	4.1%
③ 7～9歳	6	64	70	19.0%
④ 10～12歳	24	60	84	22.8%
⑤ 13～15歳	5	13	18	4.9%
⑥ 16～18歳	0	3	3	0.8%
⑦ 19～21歳	2	4	6	1.6%
⑧ 22～30歳	3	4	7	1.9%
⑨ 31歳以上	25	140	165	44.8%
合計	65	303	368	100.0%

5. 質問4での⑧. ⑨回答者の内訳

	12月18日	12月19日	合計	割合[%]
① 学校関係者	4	15	19	13.1%
② 学校以外の教育関係者	1	3	4	2.8%
③ その他	20	102	122	84.1%
合計	25	120	145	100.0%

6. 面白かったですか？

	12月18日	12月19日	合計	割合[%]
① とてもおもしろかった	38	204	242	66.5%
② おもしろかった	23	87	110	30.2%
③ 普通	4	5	9	2.5%
④ おもしろくなかった	0	2	2	0.5%
⑤ 全くおもしろくなかった	0	1	1	0.3%
合計	65	299	364	100.0%

8. 今後もこのような催しがあれば、来たいと思いますか？

	12月18日	12月19日	合計	割合[%]
① はい	61		61	96.8%
② いいえ	0		0	0.0%
③ どちらとも言えない	2		2	3.2%
合計	63		63	100.0%

9. 今回は出展されていなかったが、今後見たい・知りたいと思うテーマはありますか？

12月18日	消しゴムを作りたい なぜ鉛筆やシャープペンシルは黒の線を書けるのか ロケットが実際に飛ぶ所見たかった エンジンの動きの仕組みと動いているところをみたい(実際にエンジンをつけてみたい) からくり人形 数学的なやつ
--------	--

12月19日	化石を見つけよう 音の正体 食べられる人エイクラ 地球科学 高電圧の実験 ひこうき 宇宙飛行士への道 関係者の講演 ジャイロのこま 顕微鏡作り ペット とくに犬 スポーツ科学 水の電気分解 食べ物系 ペットボトルロケット トリックアート	自然(風・雨・雷・地震他) 電気について クォーク、ニュートリノについて 人体の科学的なこと 環境、生物多様性のテーマ ナノテクノロジー 電磁石 コンデンサー使用自転車の来年の成果 ロボコン ソーラーカーを走らせてほしい 炭酸ガスはなぜ体をあたためるか？ ロボット 人工サカナ作り 科学実験 イノブタ 手作り石けん
--------	--	--

7.面白かったテーマは何ですか

ブース番号	12月18日	12月19日	合計	割合	順位
R01	5	15	20	4%	6
K01	0	7	7	1%	
K02	2	3	5	1%	
K03	0	1	1	0%	
A01	1	4	5	1%	
A02	0	16	16	3%	9
A03	1	0	1	0%	
A04	3	4	7	1%	
A05	2	4	6	1%	
A06	0	3	3	1%	
A07	6	41	47	9%	2
A08	3	14	17	3%	8
A09	3	6	9	2%	
A10	1	1	2	0%	
A11	0	3	3	1%	
A12	2	10	12	2%	
A13	11	40	51	10%	1
A14	0	7	7	1%	
A15	0	2	2	0%	
A16	0	15	15	3%	11
A17	2	5	7	1%	
A18	2	6	8	2%	
A19	1	3	4	1%	
B01	4	17	21	4%	
B02	2	21	23	5%	5
B03	0	2	2	0%	
B04	2	5	7	1%	
B05	1	8	9	2%	
B06	6	37	43	9%	3
B07	0	8	8	2%	
B08	0	3	3	1%	
B09	2	5	7	1%	
B10	0	5	5	1%	
B11	0	4	4	1%	
B12	0	2	2	0%	
B13	0	0	0	0%	
B14	0	7	7	1%	
B15	0	5	5	1%	
C01	3	15	18	4%	7
C02	3	32	35	7%	4
C03	1	15	16	3%	9
C04	3	8	11	2%	
C05	0	6	6	1%	
C06	0	4	4	1%	
C07	2	8	10	2%	
C08	0	1	1	0%	
合計	74	428	502	100%	
	複数回答可	複数回答可	複数回答		

質問 10 その他、気づかれたことがありましたらお書き下さい

- ・ 12月の年末じゃなく、もっと秋の間に開催して欲しいです。
- ・ インフルエンザ対策にもっと気を配ってほしい
- ・ 出展されていたけれど、冬の七夕が15:00過ぎに終了してしまったので、見学できず、残念だった。次回は見学したいです!!
- ・ 前々年度の開催は、11月中、マリーナシティであったので行き易かったけれど、今年度は年末となった上に、和太と遠く、交通の便が悪かったので、また、マリーナシティで11月中の開催を望みます。
- ・ 駐車場が最悪 大学とするのなら駐車を考えて欲しい ビッグ愛かマリーナでした方がいい
- ・ 駐車場の無い会場での開催はいかなものかと思えます。駐車場を離れた場所に確保したのであれば、シャトルバスの運行が必要だと思えます。内容がマンネリでももしろくない。
- ・ パンフレットをよく読めば分かるのですがもうすこし、各コースの場所がわかりやすいとありがたかったです。説明頂いた学生さん達は一生懸命

- して下さったので子供も楽しく過ごせました。
- ・プログラミング教室の充実をお願いします。(小学生)
- ・身近な興味のもてる内容なので、とてもおもしろかったです。小2の子供にはちょっとむずかしかったところも多かったかな。中学生や高校生のお兄さん、お姉さんがとても親切に説明してくれたのがよかったです。ただ、空気鉄ぼうの担当の楠さんとちがう方が最悪でした。子供相手に大きなおこったような口調で言っていて、子供がもたもたして出来ないことに対して怒っていたので、子供は泣き出してしまいました。大人の教育もしっかりしてもらいたいです。このような子供向けの企画にはふさわしくない人材です。
- ・もう少し分かりやすくて良かった方がいいかな
- ・催しそのものはとても楽しかったのですが、中学生やロボット教室の予約がうまくいかなかったり、車の乗り入れがよくわからなかったり、レストランがうまく回ってなかったりと、少し残念な所がありました。特に、車は送迎もダメとなっていたのにみなさん車でこられてて、ちょっと嫌でした。
- ・よびこみももっとがんばれ！！
- ・レストランのいすがきたない
- ・ロボットのイベントが同時にありました。両方に参加したいときに悩みました。 駐車場が必要
- ・ロボットを動かそうに予約出来なくて残念でした。もう少し枠を広げて下さい。
- ・わからない所があった
- ・一般車の止められる駐車場が必要
- ・会場が分散していたのでまわりにくかった。去年はまわりやすかったです。
- ・会場案内図がわかりにくい。参加者(特に中高生)が少ない。
- ・学生さんなのでまだ呼び込みとか実験の流れの説明とかがまだまだかな。駐車場の案内で大きな声で誘導していた男性の学生さん？が良かった。
- ・交通に不便
- ・交通に便利な所
- ・昨年のようにビッグホールでして欲しいです
- ・子供がいるので駐車場がほしい。
- ・子供だけでの実験、少し危険を感じた
- ・子供のためなのに、駐車場ないのは、おかしい。
- ・次回実験する時間、行動スケジュールを書いてほしい
- ・小学校へのパンフレットなどのお知らせが今年なかったの、県内の小学校へこの催しのお知らせを配布して下さい。
- ・少し難しかったです
- ・食堂が時間かかり過ぎ
- ・駐車場があまりにも遠い。体の不自由な人への配慮が不足
- ・駐車場がある 雨の日はたいへん けどおもしろい
- ・駐車場がある。
- ・駐車場がない、時間が短い(せめて17時まで、朝から実施してほしい)
- ・駐車場がないので、子供を連れて来れない！！
- ・駐車場がほしい
- ・駐車場がほしいです。
- ・駐車場が遠い
- ・駐車場が遠い ①シャトルバス ②大学の駐車場希望です
- ・駐車場が遠かった。部屋の暖房ききすぎ
- ・駐車場が近くの方が良い
- ・駐車場のある所してほしい

- ・駐車場をもっと近くに
- ・駐車場を近くに
- ・駐車場必ず
- ・=====
- ・あちこちの科学イベントに参加していますが、和歌山科学まつりが一番楽しいです。
- ・ありがとうございました
- ・おもしろかった。楽しかった。勉強になった。
- ・おもしろかったです
- ・学生スタッフの方々が皆さんとても親切ですばらしかったです。息子がとても興味ある世界で時間を忘れ熱心にあれこれ体験させて頂きました。また来年も参加したいです。
- ・ご苦労様でした。来年もよろしくをお願いします。
- ・とてもおもしろかった
- ・とても一生懸命、説明していただいてよくわかりました。ありがとうございました。
- ・みなさん親切でした。
- ・みなさん丁寧に教えて頂いたり、子供と一緒に楽しめました。
- ・もっとやりたかった
- ・ゆったりと見学できました。
- ・学生さんが一生懸命説明してくれてとても勉強になりました。
- ・学生さんや高校生が生き生きしていること
- ・学生さん達がやさしく接してくれて、とてもうれしかったです。これからは夢にむかって頑張ってください。
- ・学生さん中心の運営に好感を感じました。
- ・学生の声掛けがとても良かった。生協食堂の開放が良かった。
- ・楽しかった
- ・簡単な道具で音をだしたり色をだしたり、科学的な要素が活かされている
- ・頑張ってください！
- ・帰りたくない、なかなか帰りませんでした。和歌山は広くてとても気持ちよかったです。
- ・公開体験と共催だったのが良かった
- ・広くて良かった
- ・校内がとても広かった。
- ・高校生とかが活動していて良かった
- ・高校生も頑張っていました
- ・最初はそれほど見るところもないかなと思ったが、体験ブースをはじめ、かなり最終的には楽しめました。
- ・子供たちがすごく喜んでいて良かった。案内一覧を各学部棟の前にわかりやすく付けて欲しい。
- ・自分で作れて、とてもおもしろかったです
- ・小1、小5の子供でも、とても興味をもって参加できました。大変勉強になりました。来年も、もしあれば絶対来たいです♡
- ・色々なイベントがあった
- ・食堂が良かったです。
- ・体験型のおもしろい
- ・茶道部楽しかったです。
- ・中学生・高校生がやっているのが良かったです
- ・毎年楽しみにしています。ぜひ今後も長く取り組んでください。ありがとうございました。
- ・毎年大変楽しみにしているので、ぜひ来年も続けてください。和歌山の食堂も開いていたので、昼食も食べることができて良かったです。
- ・来年も開催して下さい。
- ・和歌山大学でまたしてほしいです。近いので子供をつれてきやすいので